

主張

新型コロナウイルス感染症パンデミック下での三重県保険医協会

文化厚生部の活動は、大きな制約を強い

られた。世間においても、エンターテイメント・旅行・食事等を楽しむことは感染を助長することが多かったため真つ先に自粛を求められた。特に本

会のような医療系団体において、活動中にクラスターを発生させるおそれのある活動は厳に慎まねばならないのは自明の理である。

文化厚生部では安心安全を基本方針とし、多人数が一堂に会する機会を排除した活動を行ってきた。そのため、活動自体は低調なもの

見えてきた大事なことは、今後バーチャルで補えること、現実で行うことを融合することであろうと考える。例えば、今の自分は時間的にも

晴らしをしたくなつたと、行事がハイブリッドで行っていたら気軽に、クリスマスパーティー・ビンゴ・旅行等に参加できると、離れた家族とも

もう数年で70歳代に達する筆者には、もちろん現実に参加できないにこしたことはないと思うが、これからの先生方にとっては、オンラインで行うことをオフラインで行うことの代替

え品にする時代ではなくなってきたのかもしれない。

最後になります
が、より良い文化厚生部にするため、企画行事にご意見、ご

コロナ禍での

文化厚生部活動雑感

になつてしまつたが、三重県応援地産地消グルメプレゼント・オンラインビンゴ・オンラインツアーを企画・実行してきた。

体も健康で自由に動き回れるが、何らかの障害を得たり、子育て・介護等でいろんな事業に参加できなくなつたときに、それでも、たまに気

交流できる。さらに技術が進めば、「映画のアーバター」にあつたように、アーバターにより現実と仮想を取り払われる時代が来るのかもしれない。

参加を重ねてお願いするとともに、皆様に行事でお会いできることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。